

Palau Sailing Association Practice Recode

Date: Saturday 9th Dec

Time: 9:00-16:30

Coach Yuto

Weather: 8~14knot (E) Sunny

MORNING SESSION

Rescue boat Yuto

	OUT	IN
Stephen	---	---
Peter	---	---
Warren	---	---
Joshua Maido	---	---

AFTERNOON SESSION

Rescue boat Hitomi / Yuto

	OUT	IN
Kai	13:00	15:40
Zen	13:00	15:40
Saku	13:00	15:40
Alexander	13:00	15:40
Shin	13:00	15:40
Joshua Maido	13:00	15:00
Peter	13:00	15:40
Stephen	13:00	15:40
Warren	13:00	15:40

Time Table

09:00	Meeting time	13:30	Assemble 7 boat
	Open the container	14:00	Complete/Launch
09:20	Land Study/Goal setting.		Sailing/Race
10:00	Sailing Board game	15:30	Ashore start
11:00	Water paddle race	16:00	Boat away
12:00	Ashore/Lunch time	16:30	Review/Writing the sailing note
12:30	Pick trashes up		Home
13:00	Restart/Land study		

Impression

先週末のテストに関して、午前中の出席者は非常にスコアが低かったので補修から始めた。基礎的なところを理解出来るかどうかを確認したのちに、また再度確認できるように今週末のテストで再確認しようと思います。しかし、残念ながらテストへのモチベーションがそもそもないように感じる子もいる。できないからできないで諦めるような子、そういった子にどうアプローチできるかを同期隊員や保護者の方々に相談させていただきながら自分の成長にも繋げていければと思う。

その後、自作のセーリングボードゲームを最後までおこないました。このアプローチは午前中の子供達にとって効果的だったようで、同様なタイプのこれから入ってくる子供達にも効果が期待できそうだ。ついでに風の振れに関するイメージに関する座学も兼ねているので、理解促進につながってくれたと思う。

ゲームの後は干潮だったので、水の上での船に対する恐怖を少なくさせる目的でパドルレースを開催した。自分も参加して子供たちとの親交を深めることができたのではないかと思います。毎度このレースは好評で、チー

ムワークを醸成するためにも非常に効果的であることがわかっている。

午後のレースでは、これまで絶対王者だった子に対して積み上げてきた組が勝利を収めるという結果となった。そして1レース分は自分のコースを引けるようになったようなレースがあって成長を感じる1日だった。レースは誰もが勝ち負けを経験する状態で、レースのそれっぽくなった。

残念ながら新しいセールが破れた。不注意から来る正直に言えばあり得ない傷である。かなり緊迫感を持たせて伝えたつもりであるが、反省というものを教えるところから始める必要があるのかもしれない…。

Date: Sunday 10th Dec

Time: 9:00-16:30

Coach Yuto

Weather: 8~12kot (NE) Sunny

MORNING SESSION

Rescue boat Yuto

	OUT	IN
Saku	10:00	12:00
Zenryu	10:00	12:00
Shinryu	10:00	12:00
Kai	10:00	12:00
Alexander	10:00	12:00

AFTERNOON SESSION

Rescue boat Masae / Yuto

	OUT	IN
Zenryu	13:00	15:22
Shinryu	13:00	15:20
Kai	13:00	15:20
Saku	13:00	15:20
Alexander	13:00	15:20
Stephen	13:00	15:20
Peter	13:00	15:18

Time Table

09:00	Meeting time	11:40	Back to the beach/lunch time
	Open the container	12:30	Water gun battle
	Rigged and ready to sail 4 boats.	12:45	Rigging plus 2 boats
09:20	AM meeting	13:00	Launch
09:30	Land Study		Race & Tack
	Rule 18, 20	15:30	Ashore/Boats away
10:00	Assemble 5 boats	15:50	Short briefing
10:30	Ashore		Writing the sailing notebook
	Race	16:30	Supporters meeting

Impression

午前中はまず規則 18・20 についての講習をした。規則 18 マークルームについての講習は、パラオの子供達にとっての長年の謎だったようで、しっかりと聞いてくれた。しかし、ルールについての講習をしたところで、関係なく船をぶつけてしまうのが現状だ。なんのためにたくさんセーリングはルールがあるのか、ルールを履行する権利関係はなぜ守らなければいけないのか。このような根本的なところを学ばせる必要性を今週は感じた。

座学の後に艀装し始めたのですが、いまだに多くの子供達は自信を持って一人で艀装をすることができない。自分の身を任せる船を自分の手で艀装し、信頼をおくということを学ぶ必要性を感じた。また、自分の船についてのこだわりが日本・世界のようにはない。なぜならば、自分の船がないから。どのように自分やチームの船・はたまた借物の船であるかを認識させて、ものを大切に扱うのかこのパラオの国の子供達はもっと知るべき。

午前中のレースではこの半年間に知識や練習を積み上げてきた子供達のみパラオの中では一番レベルの高いセーリングレースが行われた。風のシフトや強弱などの戦略の知識を日々向上させていますが、これが生かされるのはまだまだ先のように思える。先頭にいる船を追いかけるだけの非常につまらないレース展開が今週日

曜日も繰り広げられた。完全に左側有利なのですが先頭艇が右に突き伸ばし、それを追尾するだけのようコース引きだ。自分のコースを進むという強い志を貫ける子供はまだいない。

午後は午前中の復習も兼ねて同じ動画・内容のルール講習会を開いた。理解が追いついていない子の教育を子供達に手伝ってもらいながら復習。その後、2艇を追加で艀装した後に再度出艇。

午後はショートコースでレースを7本行った。上位の子は着順が安定化してきており、確実にグアムレースまでの準備が揃ってきているように感じた。セーラーごとに得意不得意がレースで見えてきたので、セーリングノート中でのコミュニケーションで伝えていければと思う。